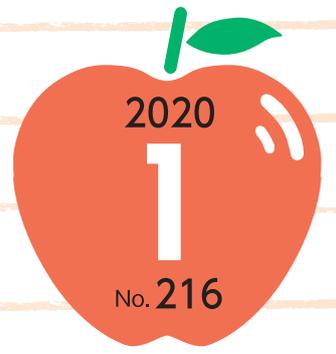


# 議会

# だより

飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori



編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80 古紙配合率80%紙



- 第4回定例会 ②
- 議会報告会 ③
- 代表質問/一般質問 ④～⑦
- 委員会 ⑧～⑪



山本小学校6年生「議会出前講座」

議会だより より読みやすくリニューアル中

令和元年

# 第4回 定例会

第4回定例会を11月25日から12月18日まで24日間にわたって開催しました。

令和元年11月25日の開会日に、執行機関側から報告案件2件、財産区管理委員の選任に関する人事案件1件、条例案件6件、公の施設の指定管理者の指定に関する案件等一般案件9件、令和元年度補正予算に係る案件5件の合計23件の議案が提出されました。

また、12月6日には飯田市職員の給与に関する条例案件1件、及びそれに伴う人件費等の補正予算案件3件の合計4件の追加議案の提出がありました。さらに、最終日の12月18日には議会総務委員会から1件の議案を提出しました。

初日提出の報告案件、人事案件、及び災害復旧に伴う補正予算案の計4件についてはいずれも即日可決・同意しました。

その他の議案については、常任委員会での慎重な審査を経て、最終日の審議では、予算案件のうち、リニア代替地整備事業費の増額を求める補正予算案に対し、反対討論が出されましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。その他については、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。



## 委員会提出議案

「新たな過疎対策法の制定を求める意見書の提出について」を全会一致で可決

飯田市を含む全国の過疎地域において、生活環境の整備や産業振興などに成果を上げてきた「過疎地域対策自立促進特別措置法」が令和3年3月末をもって失効を迎えます。国土の過半を占める過疎地域が都市に対する食糧・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、災害の防止などに多大な貢献をしていることから、引き続き新たな過疎対策法の制定を強く要望するために、国に対し意見書を提出したいとするものです。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与します。引き続き過疎対策を充実強化させることが必要であるとして、意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣に提出しました。



▲総務委員長から議案を説明

## 小中学校のトイレ環境改善を！

令和2年度予算編成へ向けた  
提言書を市長へ提出

令和元年度の議会報告会では、「小学校のトイレ環境」に対するご意見を多くいただきました。

これを受けて、社会文教委員会では、市内小・中学校全てのトイレ環境の現状把握と学校職員への聞き取り調査を行いました。調査の結果、環境改善など早急な対応が必要であると判断し、予算決算委員会での審査を経て、12月6日の本会議での同意をもって市長へ提言書を提出しました。



▲議長から市長へ提言書を手渡しました

### 【提言内容（一部要約）】

- I 小中学校のトイレについて
  - (一) 普通教室棟の各男女トイレに少なくとも一基の洋式トイレを設置されたい。
  - (二) 洋式化にあたり、3年間で目処に計画的な改修工事を実施されたい。
  - (三) トイレの間仕切りなど、問題点に対する環境の改善を実施されたい。

※この他にも行政評価に関する追加確認事項を提言しました。

# 議会報告会を開催しました

～市民の声が反映できるまちを目指して～

開催期間：10月1日～10月10日／会場：市内7カ所／参加人数：743人



今回も大勢の皆さんにご参加いただきました。また、分科会やアンケートを通し貴重なご意見、ご要望を多数お寄せいただき、ありがとうございました。

ブロック名	遠山	西部	中部	北部	南部	竜東	飯田5地区	合計
開催日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月8日	10月9日	10月10日	7日間
参加人数	75人	104人	104人	140人	73人	92人	155人	743人



## 【全体会】

広報広聴委員長より議会の取り組みについて説明



## 【第1分科会（総務委員会）】

環境政策に対し市民が誇りを持てる社会を目指し「身近な環境問題」をテーマに意見交換



## 【第2分科会（社会文教委員会）】

初の試みとなる、小グループに分かれての「円卓会議」方式で「子どもを見守り育む」をテーマに意見交換



## 【第3分科会（産業建設委員会）】

リニア・三遠南信時代を見据え、各地区の実情に沿ったテーマ設定による意見交換



飯田コアカレッジの学生の皆さんにも大勢参加いただき、参加者からは「若者が多く、会が明るい感じがして良かった」との感想をいただきました。

いただいたご意見は、内容に応じて分科会を担当した委員会へ振り分けを行い、これを各委員会で更に2つの事項（①市の執行機関に申し送る、②議会で扱う）に整理しました。

特に②については、今後の調査・研究に生かすとともに、回答が必要と判断したご意見に対しては、3月末の回答に向けた取り組みを行います。（一部のご意見に対しては、昨年末に回答を公表しました。詳しくはホームページをご覧ください。）

## 代表質問 4・5ページ

各会派を代表して1人が市政全般について質問します。会派の意見を次年度の予算に反映させやすいよう、飯田市議会では、12月（第4回定例会）に行っています。

## 一般質問 6・7ページ



市政全般にわたり、市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第4回定例会では、12人の議員が質問しました。

# ズバリ 市政を問う!

第4回定例会の代表質問・一般質問の概要を紹介します

- ▶ 質問順に掲載
- ▶ 末尾の■は、他の質問項目
- ▶ 質問の様子は、YouTubeで動画配信しています



## 人口減少社会にあって持続可能な地域づくりの推進を ～市長の市政経営とリーダーシップのあり方について～



代表質問 会派のぞみ

山崎 昌 伸 議員

**Q** 市長就任以来、市役所の経営、組織風土のあり方、人材育成などの観点から、どのように取り組んできたか。

**A** 市長は政策推進の責任者。緊急時にはトップダウンによる迅速な対応をするが、普段はボトムアップで政策事業を行うのが私のスタイル。そうした中で「地域経済活性化プログラム」「地域健康ケア計画」「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画等も策定してきた。

**Q** 地域自治組織の負担感の増大が顕在化しつつあるが、この内容についてどのように分析しているか。

**A** 市から依頼する業務が負担になっている。また、課題の解決が容易でなくなってきたことや、これまで地域づくりの主役だった60歳代が働く世代となり、役員選出が困難になっているなどの事由が重なって、負担感の増大につながっていると思われる。

■リニア関連事業 ■産業振興 ■公共施設マネジメント ■ブランディング、シティプロモーション ■子育て、教育 ■安全安心な社会の構築 ■環境への取り組み ■事業者との連携



## 市長の4期目の公約について ～公約は、この街にどんな成果をもたらしたか。市民感覚で問う～



代表質問 会派みらい

井 坪 隆 議員

**Q** 組合未加入問題、帰って来る若者の働く場づくり等、市民感覚では市長の政策が効果を上げていないのでは。

**A** 各自治活動組織では、試行錯誤を重ねて課題改善に結びつけており、行政としてもそうした活動に対し、財政支援や活動支援をしている。また、若者の働く場の確保に向けては、新たな産業の創出や、従来からの基幹産業の高度化・高付加価値化に取り組んできた。政策を進める上では、大きな課題に対して目指す姿をきちんと掲げ、その目指す姿に向かい、足元から成果を積み上げていくことが大切と考えている。

**Q** 最重要課題としたリニア中央新幹線について、その事業費の長期的な財政見通しをどのように考えているか。

**A** 駅周辺整備事業と同様に、重点協議地区や乗換新駅の設置についても、関係する皆さんとの協議が整い、基本的な考え方がまとまった段階で、その内容や事業費等について明らかにしたいと考えている。そのため、全体の財政的な見通しがいつできるかということは、現段階では明確にできる状況ではない。



## 少子高齢化・人口減少時代において ～人と地域を生きかす共生社会の構築に向けて～



代表質問 公明党

永井 一英 議員

**Q** 国の「我が事・丸ごと」の地域づくりと、市の「地域福祉課題検討会」の関連性と目指すまちの姿は違うか。

**A** 「我が事・丸ごと」の地域づくりは、様々な枠を超えて地域を共に創っていくことと認識している。「地域福祉課題検討会」は、地域の支え合いの基盤強化を目指している。誰もが安心して暮らすことができる地域を創り、共生社会を構築するという同じ目標に向かって取り組みを進めている。

**Q** 安全安心で持続可能な地域公共交通ネットワークの確保をどのように図るか。

**A** 市では、地域公共交通の諸問題を解決しながら現在のサービス水準を維持していくことに努めている。また、自動運転など、新たなモビリティの導入や活用について考えるため、市内で「新たなモビリティ検討チーム」を今年度設置した。社会実装の現状等に関する勉強を始めたところであり、今後諸課題の検討を総合的に進めていきたい。

■これからの市政運営と来年度の予算編成 ■力強い地域経済の振興 ■気候変動への対応 ■防災意識社会の構築



## 地域で安心して暮らせるための支援体制について ～地域の医療の現状と、女性が輝ける社会づくりは～



代表質問 市民パワー

木下 容子 議員

**Q** 飯伊地域では、開業医の高齢化問題などが顕著になってきている。医療の現状と課題はどうか。

**A** 全国的な病院の働き方改革への対応も含め、医師が少ない地域での救急体制が不安視されている。当地域では、地域内の医療機関が相互に連携して医療を提供してきたが、進行する開業医の先生方の高齢化に危機感を持っている。しかしながら、市立病院でかかりつけ医として関わることは困難であり、難しい問題だと感じている。

**Q** 男女共同参画を推進するための男性への働きかけの現状はどうか。今後に向けてどう取り組んでいくか。

**A** 男性の育児休暇について、事業所訪問により、制度が整っていても取得者は少ない状況と聞いている。休暇制度が積極的に活用され、男女共同参画による育児が進むよう、引き続き事業所への働きかけを進めていきたい。また、家庭や地域に対しては啓発に向けた情報を発信するとともに、学校教育や社会教育において、市民や事業者と連携した学習事業を充実させていくことで啓発に努めたい。

■牧野市政4期16年目を迎えて



## 市長の政治姿勢と新年度予算編成について ～日本国憲法に基づいた市政運営を求めて～



代表質問 日本共産党

後藤 莊一 議員

**Q** 市政運営全般を日本国憲法に基づいたもの、特に憲法のもつ3原則を基本とすべきと考えるがどうか。

**A** 市長就任当初から、社会的に弱い立場の皆さんに手を差し伸べるのが行政の本旨と考えている。産業振興に努め、行財政改革を進め、福祉政策を充実できるように財政基盤を作っていく。また、令和の時代が平和であり続けることを切に願っている。

**Q** 国保・介護保険制度に対する国の財政支援強化の申し入れは。また、日米貿易協定の改定などによる畜産農家への対策は。

**A** 全国市長会は、年に2回、全国各ブロックから提出された重要課題を決議し、提言としてまとめ、要請活動をしている。今年度は、国保財政基盤の強化のための財政支援、介護保険制度に係る財政措置の拡充について決議し、提言を行っている。また、提言とは別に「国民健康保険制度等に関する重点提言」、「介護保険制度に関する重点提言」をまとめている。TPPに関しては、当地域への影響を把握した上で、国のTPP等関連政策大綱の対策状況を踏まえ、必要に応じて国への申し入れを行っていく。

飯田市幼児教育・保育のあり方方針(案)について

古川 仁 議員 (日本共産党)



**A** 市には、保育の実施者としての行政責任がある。民営化により、飯田市の保育は、民間保育所、認定こども園、公立保育所の3種類の形態により実施されている。多様な主体が施設運営をする場合でも、公立・民間に関わらず、管理も含めた運営について、安全安心な保育が実施されるよう、行政の責任として指導や支援をしていく。

**Q** 児童福祉法第2条「地方自治体が責任を負う」を基本に、方針(案)を作成してはどうか。

観光を地域振興につなげるためには

清水 優一郎 議員 (会派のぞみ)



**A** 天龍峡PAや下村広場の活用方法について、地元の皆さんや民間事業者等と検討していく。天龍峡周辺への「道の駅」設置については、庁内関係部局で調整会議を行い、検討・調整を進めている。経済効果が出るような観光の仕掛けづくりをするために、専門家のアドバイスを含めて体制と仕組みを作っていく。

**Q** 天龍峡大橋が開通したが経済効果がでない。物販施設の整備や地域が潤うための新体制が必要では。

■ご当地ナンバー創設について

昨年行った附帯決議が次期介護計画にどう活かされるか

福沢 清 議員 (会派みらい)



**A** 健康寿命や要介護の認定率は、成果イメージとして分かりやすい指標だが、予防活動の効果が数字にダイレクトに反映されるか疑義もある。また、圏域ごとの健康寿命の算出は困難であり、要介護の認定率は小さな社会変化の影響を受けやすく、指標とすることについて検討が必要。

**Q** 飯田市の生活圏域ごとの成果イメージとは、保険者に占める要介護者の割合(出現率)と考えて良いか。

■飯田下伊那の労働環境の変化について

災害ごみの受け入れと環境意識の醸成について

福澤 克憲 議員 (市民パワー)



**A** 当市では、生ごみ処理機に對する補助制度を早期に創設して対応してきた。補助制度を利用することの動機付けとして、他市の金額も参考に、適正な補助金額を検討したい。また、過去に購入した処理機の買い替えに応じた制度設計も検討していきたい。

**Q** ごみの減量やリサイクルの一層の推進を図るため、生ごみ処理機器購入補助金の増額を検討してはどうか。

■飯田市災害廃棄物処理計画について

高齢ドライバーの免許証自主返納への支援の現状は

小林 真一 議員 (公明党)



**A** 免許証を自主返納した方を対象に、バス又は乗り合いタクシーの回数券を申請に基づき1回限り交付している。この制度は、公共交通の維持確保のため、移動手段を公共交通へ切り替えてもらい利用促進へ繋げる狙いもある。年々、公共交通に係る事業費は増しており、新たなモビリティを充実することを含め、総合的に考えていく必要がある。

**Q** 免許返納後、本人と家族の負担軽減のために、バス・乗り合いタクシーの回数券増刷、増額の考えは。

大規模災害時における受援の体制と課題は

岡田 倫英 議員 (会派のぞみ)



**A** 災害時ボランティアセンターは、社会福祉協議会が「さんとびあ飯田」に立ち上げて運営する。スムーズな運営のため、適切な規模でアクセスが良く、広い駐車スペースが確保できる場所が必要であり、設置場所は、大規模災害を想定して検討しておく必要があると考えている。

**Q** ボランティアアセンタを「さんとびあ飯田」に設置する計画は好適地の観点で疑問。見直してはどうか。

■市民の災害ボランティア活動について

## 最先端映像技術(XR)の活用について

塚 平 一 成 議員 (会派のぞみ)



**Q** VR等のXR技術は、遺跡や古墳群・景勝地の魅力発信ツールとして研究価値が高いと捉えるがどうか。

**A** 恒川官衙遺跡や飯田古墳群に来ていただいた皆さんに、その魅力を伝え、歴史や文化をより深く理解してもらおうために、XR技術を活用することは有効な手段と考える。導入には相当の費用もかかるが、今後、技術開発が進んで行くと考えられ、一つの手法として研究していく価値はあると考えている。

■組合加入促進への施策について

## 認知症対策の推進について

村 松 まり子 議員 (公明党)



**Q** 微細な認知機能の変化を簡易・高精度に確認できる「あたまたの健康チェック」を導入してはどうか。

**A** 認知機能のチェックの仕組みとして、市のホームページにも掲載している「もの忘れ相談票」でチェックができるので活用いただきたい。チェックの結果、心配になった時は、相談票を持参して相談いただくようお願いしている。議員ご紹介の「あたまたの健康チェック」は、「もの忘れ相談票」へ到達する前のチェック方法と考える。研究していきたい。

## 道路管理の瑕疵による事故対策は

木 下 克 志 議員 (会派のぞみ)



**Q** 年間1、500カ所に及ぶ生活道路の陥没補修の実態と、抜本的な対策は。

**A** 道路の補修は、土木課の職員を中心に、各自治振興センター職員や地域の方にも協力いただいで対応している。また、平成4年から郵便局に依頼し、配達時に発見した破損箇所を報告してもらっている。道路や河川の老朽化対策について、国にも要望を継続している。財源が限られている中で有効な対策を考えていく。

■観光行政について

## 小中学校の給食費の公会計化について

木 下 徳 康 議員 (会派のぞみ)



**Q** 全国的に自治体が担う公会計へ移行が増えているが、学校単位の私会計である飯田市は今後どうするか。

**A** 公会計化の導入は、体制整備に多額の経費がかかるという課題もあるが、学校教職員の負担を軽減し、児童生徒に向き合う時間を確保できるといった効果も期待できる。すでに取り組んでいる他自治体の状況を確認するなど、導入に向けた検討を始めた。

■ICT時代に対応した市民からの声・メッセージについて

## シャルルヴィル・メジール市との今後の交流は

清 水 勇 議員 (会派のぞみ)



**Q** メジール市庁舎に開所した「日本の間」の活用と、小中高校生、観光・文化・企業間の交流は。

**A** 「日本の間」には、当市が贈呈した工芸品や、りんご並木などの写真が展示され、飯田の魅力を発信する場となっている。今回の訪問は、市民レベルでの更なる国際交流につながり、当市が目指す「小さな世界都市」への大きな一歩となった。今後は、教育や人材育成、産業経済といった様々な分野を含めた交流を通して、両市の関係を深めていきたい。

## 風雨災害に備え河川排水路の長期的な整備計画を

熊 谷 泰 人 議員 (会派のぞみ)



**Q** 風雨災害に備え、早急に河川・排水路の台帳を作成し、データベース化するべきと考えるがどうか。

**A** 異常気象等により生活圏域に大きな被害をもたらす風雨災害が各地で発生しており、河川に関わるデータを整理して台帳を整備することの必要性を認識している。しかし、数千万円の規模でできる状況ではない。コストを含め、整備すべき情報とその精度などの検討が必要である。

■全市一斉の水辺等美化活動(河川清掃)について

# 総務委員会

12月10日に委員会及び予算決算分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



飯田市南信濃木沢都市山村交流促進施設の指定管理者の指定について

**Q** 地域住民のよりどころになってきている施設というが、具体的に地域の人はどのくらい活用しているか。

**A** 昨年の利用者は、来訪者数が約3千人、交流事業への参加者は約千人である。事業に利用した場合、利用料を徴収している。来訪者のリピート率も高く、年間の来訪者数も増加してきた。地域住民は、清掃作業を通じて、こどもや高齢者の交流を行っている。



▲南信濃木沢都市山村交流施設 (旧木沢小学校)

**Q** 貴重な木造建築物であり、火災予防に対して市はどのような考え方を持っているか。

**A** 従来の保全活動以外、現時点で新たな防火対策は検討していない。協議会がこまめに施設の管理を行っているが、自由に出入り可能な状況であるので地元と相談していきたい。

**Q** 施設の運営費はどのくらいになるのか。市から支払われる指定管理料はどのくらいか。

**A** 市からの指定管理料は「ゼロ」であり、協議会が利用規定により徴収する利用料と来訪者等の寄附金収入によって運営している。市からは、協定による修繕費を支出する。

《総務分科会》 令和元年度補正予算審査

もりのエネルギー利用推進事業(ペレットストーブ・ペレットボイラー点検実施補助)について

**Q** 説明では平成21年度以降に設置したペレットストーブの点検ということだったが、20年度以前に設置したストーブの点検はどのように対応するのか。

**A** 公共施設へのペレットストーブの導入は平成14年度から進めてきた。20年度までに導入したストーブは、経年により交換部品がないたため、故障した場合は買い替え対応となる。これらについては更新計画を立てている。



▲市役所本庁舎C棟入り口に設置のペレットストーブ

**Q** 公共施設へのペレットストーブ設置は、普及促進の狙いもある。公共施設のストーブが頻繁に不具合を起こすことはマイナスイメージにつながる。交換部品があるうちの不具合であれば、早い対応が必要となるが、今後の対応はどのようなようになるか。

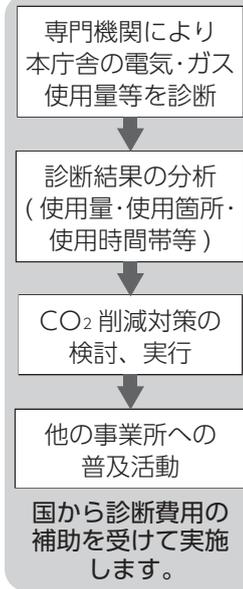
**A** 平成21年度から28年度までに設置したストーブは、環境モデル都市推進課が全ての点検を1回行う計画を立てている。それ以降は、主管課が対応し、日頃のメンテナンスについて確認していくようにしたい。

CO<sub>2</sub>削減ポテンシャル診断業務委託料について

**Q** 「CO<sub>2</sub>削減ポテンシャル診断」とはどのような診断内容か。

**A** 今回の診断は省エネに焦点を絞っている。特に電気使用量について、更に削減の余地があるかの診断を受け、改善対策に取り組むことにより、他の事業所への横展開に繋げたいと考えている。

## 足明 飯田市役所における CO<sub>2</sub>削減ポテンシャル診断



# 社会文教委員会

12月11日に委員会及び予算決算分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



飯田市人形浄瑠璃施設の指定管理者の指定について

**Q** 施設の有効活用を図るため、今後5年間のミッションを明確にして、それに対する支援のあり方も含めて指定管理者と協議すべきと思うが、どう考えているか。

**A** 飯田市として施設に対する思いを明文化して管理者へ伝え、その実現に向けた役割分担を確認することが重要と考える。今後、協定等を結ぶ時に趣旨を確認し、毎年、成果が出来ているかなど見直しながら進めるように心がけていく。

◀今田人形の館（龍江）



▲黒田人形浄瑠璃伝承館（上郷）

飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館の指定管理者の指定について

**Q** この施設を指定管理で運営することの目的と、今までの成果をどのように評価しているか。

**A** 施設の展示物の維持管理や観覧者への説明、文化教養講座の企画業務、それらを通じて市民の教養や文化の向上発展を目的に指定管理で運営している。指定管理者の三穂まちづくり委員会では、これまでも人形劇フェスタの地域公演や神無月の宴（うたげ）、プロジェクトの活用イベントなどを継続して開催しており、地域の文化振興に寄与してきたと評価している。



▲旧小笠原家書院（三穂）

《社会文教分科会》令和元年度補正予算審査

三穂小学校体育館の修繕について

**Q** 体育館の屋根改修とのことだが、問題の原因は究明できたのか。

**A** 三穂小学校の体育館は、以前から雨漏りのような状況があり、業者に点検等を依頼してきたが、結露の可能性が高いとの判断に達し、結露対策の工事を行うことになった。

県図書館の仮移設について

**Q** 老朽化による仮移設との説明だが、今後の方向性についての考えは。

**A** 県と上郷の2つの地域館や各地区にある16分館を含めて、飯田市全体の図書館運営体制を再検討していく中で、県図書館のあり方の検討を進めていく。

また、県地区内でも、公共施設の老朽化等の課題があり検討会が立ち上がっている中で、そこに参加しながら一緒に検討していく。



▲仮移設が決まった県図書館

聖火リレー出発式の委託料について

**Q** 東京2020オリンピックピックに関する聖火リレー出発式の委託料400万円の内容は。

**A** 出発式の運営費であり、ステージ設置や応援旗等の費用である。予算額は、長野県が選定した委託業者からの見積り金額である。



# 産業建設委員会

12月12日に委員会及び予算決算分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



## 飯田市営住宅等条例の一部改正について

**Q** 民法改正に伴って、条例に規定する延滞利息を法定利率とすることだが、その法定利率は。

**A** 利率は時点が変わる。また、民法の規定に準じて扱っていく。現在、改正民法の第404条に規定される法定利率は、年3パーセント。さらに、市中銀行の金利動向に合わせて変動していく仕組みとなっている。



市営住宅の耐震化など長寿命化計画の方針は、産業建設委員会協議会において市地域計画課より説明がありました。  
→詳細は [飯田市議会ホームページ](#) をご覧ください

## 飯田市大平宿生活原体験施設の指定管理者の指定について

**Q** 指定管理施設の利用状況は。

**A** 直近3年の実績として、平成28年は1,265人、平成29年は1,226人、平成30年は938人であり、昨年は、利用の多いシーズンの秋に、台風が重なった影響により減少した。

**Q** 施設の維持管理、老朽化対策は。

**A** 大平宿生活原体験施設は、古民家9棟、付属の倉庫1棟の10施設あるが、年数を重ね、傷みが進行していることは把握している。毎年度、予算措置をしながら修繕等の対応をしてくている。

## 飯田市立動物園の指定管理者の指定について

**Q** 指定管理者の選定は。

**A** 現在の指定管理者が、今年度末をもって解散するが、議案の指定管理者は、これまで業務に従事されていた方々を含む事業者であり、施設の管理や飼育、対応には実績があり、信頼できることから選定した。

令和元年9月の動物愛護週間に「アルパカ」が展示されました。



平成30年(2018年)に飯田市立動物園へ126,302人の来園がありました。

## ▼平成記念飯田子どもの森公園



年間を通じて各種講座、イベント事業が開催され、平成30年(2018年)に115,995人の来園がありました。

## 平成記念飯田子どもの森公園の指定管理者の指定について

**Q** 広大な敷地の管理や、これまでも市民に親しまれてきた各種イベント事業の継続性の観点から、指定管理者の選定は。

**A** 指定管理者は、令和元年7月に設立された新しい事業者ではあるが、現在の指定管理者の今年度末の解散を受けて、その従業員を雇用する予定であること、また、これまでと同様に施設を維持管理するとともに、各種イベントを企画立案し、実施していく計画の提案がされたことから、選定に至った。

# 予算決算 委員会

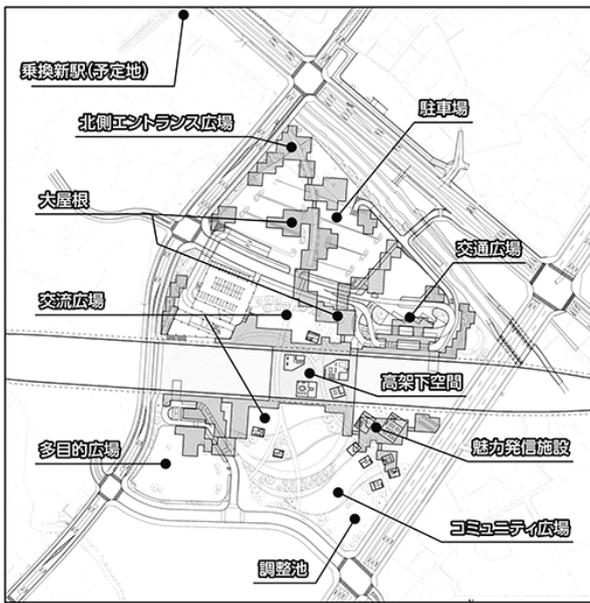
11月25日に前期全体会、  
12月18日に後期全体会を  
開催しました。  
委員会の様子はYouTube  
をご覧ください。



産業建設分科会・リニア推進連合会議及び後期全体会における、質疑内容を掲載します。

**Q** リニア代替地整備座光寺唐沢・宮の前地区に隣接し、県道上飯田線と県道市場桜町線を結ぶ、市道座光寺95号線の道路改良工事後の、代替地整備の先行きは。

**A** 道路改良工事は、道路内の普通河川の付替えを渇水期に行うもので、早期着手・完了をめざし、かかる代替地整備を来年度から進めたい。



**Q** 座光寺唐沢・宮の前代替地整備の全体工  
事費の見込みは。

**A** 現在、地権者や関係者の皆様と協議を行  
っているところであり、明確な区域を  
確定し全体の整備計画を定めてご了解を得る  
ところまでは至っておらず、正確な積み上げ  
を行える状況でないため、全体工事費につい  
ては確定していない。

**Q** 代替地希望者の状況は。

**A** 個々の希望については、今後把握をして  
いく。

## リニア推進 特別委員会

12月16日に特別委員  
会を開催しました。  
委員会の様子は  
YouTubeをご覧ください。



リニア駅周辺整備基本設計について

**Q** デザインノートに掲載されている、駅舎  
イメージがいつまでも白いままである  
が、周囲との調和が感じられない。JRとの  
調整は進んでいるか。

**A** 駅舎の意匠については、実施計画で検討して  
いく課題と捉えている。トータル的なデザイ  
ンとして違和感のないような形にまとめ上げて  
いくために、現在、JR東海と協議を行っており、  
今後も更に細かい部分を詰めていく予定である。

**Q** 本庁舎A棟3階に展示してある駅周辺イ  
メージ模型をもう少し市民の皆さんに見  
てもらえる場所に移すことは考えないか。

**A** 目立つ場所への展示を検討したが、縦長  
の展示物と展示スペースの制約もあり現  
在の場所での展示  
となっている。そ  
の他のPRとし  
て、地区の文化祭  
等でご要望があれ  
ば模型をケースに  
入れた状態で貸し  
出しをさせていた  
だく。



▲本庁舎A棟3階の展示スペース

**Q** 基本設計が完了し、今後実施設計の検討  
に入るようになるが、開通後にリニアの  
活用が見込まれる若者たちの自由な発想を取  
り入れていくことは考えているか。

**A** 今後はプロジェクト方式で検討し整理し  
ていくが、基  
本設計の検討の中  
でも行ってきた  
ワークショップな  
どへの参加呼び掛  
けを行うなど、今  
までの市民参画型  
の理念を今後も継  
続していくことを  
考えている。



▲市民ワークショップの様子

# 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



## ～ ラジオ体操 ～

むらまつ まり子  
村松 まり子

新しい朝が来た 希望の朝だ  
喜びに胸を開け 大空あおげ  
ラジオ体操の音楽と掛け声が流れて  
くると、小学生の夏休みにタイムスリッ  
プするような気分になる。起き抜けの顔でラジオ体操  
カードを、首から吊してラジオ体操会場に通っていたの  
は懐かしい思い出だ。

この誰もが知る体操の動きには、優れた効果が秘めら  
れており、「人生100年時代」を健康に暮らすための身近  
な運動として改めて注目されている。ラジオ体操の約3  
分という短い時間の中で、13の動作を軽快なリズムに合  
わせて行うことで、ふだんの生活では使わない筋肉を含  
め、全身の筋肉・骨格をバランス良く効率的に動かすこと  
ができ、健康づくりに効果があるという。

以前年齢と共に足腰が弱くなってきた母が、「ラジオ体  
操を続けたら丈夫になった」と、運動不足の私に勧めてく  
れたが長続きしなかった。

還暦を過ぎ、健康診断の結果が気になりだしてきた今。  
たった3分、されど3分。継続しよう！



## ～アインシュタインとベートー ヴェンではどちらが天才か？～

いっぽ たかし  
井坪 隆

ノーベル賞の受賞者は、時として  
「天才」と呼ばれることがある。「天才」  
といえば、科学者アインシュタインが  
思い浮かぶ。ほかに「天才」を冠することが多い人に音  
楽家もいる。その一人が、今年2020年に生誕250年を迎  
えるベートーヴェンである。

では、どちらが天才か。2002年にノーベル賞を受賞し  
た小柴昌俊さんによれば、音楽家こそ希有の天才であ  
るが科学者はさにあらず。それは、彼がいなかったなら  
その音楽はこの世には存在しない。では科学者はどう  
か？もし彼がこの世に生まれてこなかったとしても、  
それに先立つ多くの研究の積み重ねの上に、理論はい  
ずれは誰かが創り上げたであろう。つまり科学は、ひと  
りの天才が突然創造するものではない、というわけだ。

ノーベル賞の吉野彰さんらが開発した電池を搭載す  
る電気自動車に乗り、ベートーヴェンを聴きながら音  
楽に親しむ私としては、「天才」でもないのに嬉しい解  
釈だ。

### 表紙 紹介

## 山本小学校「議会出前講座」

正副議長と広報広聴委員の総勢 10 名による出  
前講座を令和元年 10 月 23 日、山本小学校 6 年  
生 2 クラスを対象に実施しました。

全体会での市議会についての説明後、1 クラ  
スごとに班別交流会（意見交換会）を行い、最  
後は児童と一緒に給食もいただきました。

日頃学校生活で感じることを中心  
に、自由に意見を言い合える児童の  
姿がとても印象的でした。

◆当日の様子は市議会ホームページでご確認  
いただけます。(QR コード→)



## 市議会ウォッチング

### ～傍聴された方の感想より～

- ◆質問内容に馴染みのない市民にも分かるよう丁寧な  
質問をしており、聞いていて分かりやすかった。
- ◆議場と傍聴席との距離が近く、緊迫した空気を感じた。

## 議会の動き (予定)

- 第 1 回定例会 2 月 25 日 (火)～3 月 19 日 (木)
- 一般質問 3 月 4 日 (水)～5 日 (木) (傍聴可能)  
※質問内容は 2 月 27 日午後以降に飯田市議会ホー  
ムページに掲載されますのでご確認ください。
- 委員会日程 (傍聴可能)  
予算決算 (前期全体会 2 月 25 日、後期全体会 3 月 17 日)  
総務 (3 月 6 日、9 日)、社会文教 (3 月 9 日、10 日)、  
産業建設 (3 月 10 日、11 日)、リニア推進 (3 月 13 日)
- 議会への請願・陳情は、2 月 19 日 (水) 午後 5 時  
までに、議会事務局へご提出ください。

# どうする どうなる

ここに  
注目!

全員協議会などにおける協議事項や報告事項をご紹介します。

## いいだ山里街づくり推進計画 (飯田市版立地適正化計画)について

この計画は、市内全域を対象に本年4月から2040  
年までの長期的視点に立ち、市の総合計画との整合  
を図りながら、目指す将来都市像の具現化を図るた  
めのものです。

### 基 本 的 考 え 方

「山」「里」「街」の暮らしを支えるための区域を  
具体的に設定し、立地適正化を推進

「山」「里」「街」の暮らしを大事に考えそれぞれの  
暮らしを支えるための区域を具体的に設定します。

中心拠点と広域交通拠点の都市機能の立地適正化  
を先行して着手

リニア中央新幹線開通等の飯田の特殊事情を踏まえ、  
まずは中心市街地やリニア駅周辺地域について効果  
的な施策や財政支援等の活用を見据えて策定します。

地域拠点の都市機能は、市内 20 地区で策定され  
る地域の土地利用計画と段階的に連携

地域拠点の都市施設の立地に関しては、各地域で策定  
されている基本構想や土地利用計画・景観などのルー  
ルづくりの取り組みと一体的に連携していきます。

## 広報広聴委員会

委員長	竹村 圭史	副委員長	福澤 克憲
委員	清水優一郎	塚平 一成	古川 仁
	永井 一英	新井信一郎	井坪 隆